



友 和

NO.577

発行日 令和 7 年 5 月 1 日

発行 社会福祉法人 友和の里

〒 738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 理事長 河野義刀



2025.4.11
春の宴



お花見の思い出

お花見は友和の里の毎年のイベントです。いつのころからあったのか、友和の里のこれまでをよく知る浜先部長に原稿をお願いしました。

当時を思い返しながら、ふと「友和の里のお花見には一体何回目の参加になるだろうか」と懐かしく思いを巡らせました。当時は通所部しかなく、行事名も「友和の里お花見会」と呼ばれていました。多くの保護者の方々が通所利用者の送迎バスに同乗し、朝から賑やかに参加されていた光景が目につかびます。

お花見の日には新入所者や職員の紹介が行われるという習慣は、今も変わりありません。当時、職員は通所ホール前の桜の木の下で仮装して歌ったり踊ったりしていました。特に、栄養士さんがサザエさんに仮装して「お魚くわえたドラ猫」と歌っていた姿が、今も鮮明に記憶に残っています。桜の花が散ってしまい、前日に地域からお借りした造花を木に結び付けたこと、びっくりするぐらいの大雨に見舞われたこと、散りゆく桜の下でお弁当を食べ楽しんだこと・・・色々なエピソードが思い出されます。近年、桜の散る時期が早まり「桜の花がないじゃないか」との声を受け、行事名が「春の宴」に変更されました。しかし、その賑わいと楽しさは今も昔も変わらないままです。今年度もまた、私の新たな思い出になりました。来年も皆さん元気で、桜の木の下で再会できることを願っています！

（部長 浜先 ひろこ）

はる うたげ 春の宴

四月十一日（金）友和の里「春の宴」を利用者、保護者、職員の総勢206名の参加で開催いたしました。前日深夜に大雨が降り、天候や桜が散ってしまったのか心配をしておりましたが、朝から晴天に変わり、少し散りはしましたが桜の花も残っていました。開催時には気温も上がり、暑いくらいでした。

千鳥のお弁当や栄養士さんの手作りチョコクッキーを、ホールや食堂、桜の見える外ではおしゃべりに花を咲かせながら食事をしました。食べ終わると、通所部と入所部でそれぞれのフォトブースにてご家族や職員と個々に記念撮影をしました。チェキから浮かび上がってくる画像を楽しみにしておられる姿をたくさん見ることが出来ました。また、空いている時間には当日限定販売された干しいたけの購入やしいたけ狩りを楽しまれる方や、昨年度の友和まつりの映像鑑賞をして楽しんでおられる利用者さん・保護者の方、それぞれに楽しんでいただけたのではと感じています。春の宴にご参加いただきありがとうございます。

（生活支援員 西川 瑠梨）



参加されていたご家族に話をあきしました。



連絡帳より、保護者の方からの感想

・春の宴帰宅後は常に歌を口ずさむ程上機嫌で過ごしていました。

・春の宴では色々お世話になりましたありがとうございます。親も今年が最後になるかと思いがら参加させてもらっています。

・春の宴と共に新年度が始まりました。今年度もどうぞよろしく願いいたします。改めて「春の宴」ではお世話になりました。前夜の雨もあがり本当に良い花見日和になりました。可愛らしい花飾りや飾り付けも、クッキーも職員の皆さんの努力を感じます。この愛情に包まれて、また、一年過ごせますように祈ります。

・春の宴はありがとうございました😊 職員さんともいろいろお話しでき、様子も教えていただけてよかったです。たくさん職員さんに温かく声をかけていただきとても嬉しかったです。友和の里さんに通うことができ改めて幸せを感じる一日でした。たくさんご迷惑をおかけしますが、これからもよろしく願います。

ご家族 インタビュー

20年くらい通所させてもらっています。これまで、いろいろな行事に参加させてもらいました。あんなことこんなことありました。以前は家族的な雰囲気よかった。個人情報が出るようになって変わってきました。ここは褒めてもらえるところ。本人にとってよかった。穏やかな表情がみられるようになった。

息子が高校卒業後、紹介で友和の里へやってきました。40年くらい前はつきりと覚えていませんが、桜の木を何本かここ友和の里に植えました。当時の理事長さん、守口さんと一緒に主人が植えました（今はホール前の1本だけになりました）。桜の季節に父兄がやってきて、伝統のシイタケも印象があります。職員と一緒に子どもたちも年を取っている。若い職員がふえてきた。知つとる人が少なくなるのは淋しいですね。木のぬくもりを感じます。自然に囲まれているぬくもりも。



左から 職員荒川 河野理事長 所さん 西田さん 職員田代

当日、「一緒に写真に写ろう」という理事長の声かけで集まったメンバーでピース！

おはなみ

字：塩田兆優
絵：平珠希



とうげいはん 陶芸班 引き続き干支づくりを頑張ります。また、創作活動にも力を入れていきたいと思ひます。
(生活支援員 朝川 泰貴)

りょういくはん 療育班 利用者の方々、一人ひとりに寄り添った支援を行っていきます。どうぞよろしくお願いしします。
(生活支援員 永見 貴一)

そうさくはん 創作班 新たに創作班のメンバーに加わりました山田です。よろしくお願い致します。創作班では、引き続きウエス作業を中心に活動を行って参ります。少しでも出来ることを増やししながら、現在の力を維持向上していきたいと思ひます。ご家庭のご様子と、通所部生活介護での様子を共有し、個別性を尊重しながらより充実した支援が行えるよう励んで参ります。一年間どうぞよろしくお願い致します。
(主任生活支援員 山田 憲志)



かいとおはん 貝通し班 貝通し作業を通して、日々の皆さんの安定を維持し、毎日同じではなく、作業環境も常に見直しを行い少しでも快適に過ごしていただけるよう努めたいと思ひます。
(生活支援員 冠 茜)

グループホームゆうわ フレンド^リホームゆうわ

グループホームゆうわは、設立から7年目を迎え、入居者の皆さんの居室はそれぞれの嗜好を反映し、とても素敵な空間になっています。皆さん、ご自分で選んだ家具や家電に囲まれて、週末や、朝・晩の時間を居室で思い思いに過ごされています。今回は^{たおもしげき}嶺本滋基さんのお部屋でのご様子を紹介したいと思います。以前からリビングのテレビで友和の里の行事のDVDを観ることを楽しんでおられた滋基さんですが、リビングでは他の方との譲り合いになることも多く、ご本人も自室で好きなDVDが見たいというご様子がありましたので、保護者に相談させて頂き1年前にDVD録画機器を購入しました。「機械は私が教えたわけではないけれど、なんでも上手に操作して使いこなすと思ひます」というお父様の言葉通り、購入したその日から、リモコンで上手に画面操作をして使いこなしていらっしゃいます。数ある録画した番組の中から、好きなお笑い番組の好きな箇所を何度もリピートで見て大笑いされたり、セリフを丸暗記してテレビと同時に話していたり、日中何度も繰り返し見ている友和の里の行事のDVDは就寝時には、機械から取り出し、きちんと引き出しにしまっておられる律義さです！またニュース番組をみている最中に訪室すると、「総理」「地震」など番組のトピックスを教えて下さいます。テレビで見たものすべての情報が、職員や世話人さんとの会話のネタになっています。自室にずっとこもってテレビを観ておられるわけではなく、おしゃべりしたいなと思われたら、リビングに出てこられて友達や職員・世話人さんとおしゃべりされたり、自分の時間を上手に使ってられます。(部長 川久保 貴子)



新年度が始まりました。新しく配属になった職員もフレンドの皆さんの生活がより良いものになるように一緒に頑張っています。今月は3月から入居された^{りほより}李鎬烈^リさんを紹介しします。素敵な笑顔で、近くにおられる方に声を掛けられる李さん。そばで職員が書き物をしていると「何を勉強してるんや」と声をかけてくれたので、ペンと紙をお渡しすると横で何やら書き書き・・・長年李さんの生活に携わってききましたが初めて見る行動。一緒に生活することで新たな発見がありました。これから、もっとたくさんの発見をしていきたいと思ひます。

(主任生活支援員 吉村 愛)



令和7年4月入所式^{にゅうしょしき}について

この春、廿日市特別支援学校高等部を卒業された『浴 資充(えきもとみつ)』さん。友和の里通所部をご利用されることになり、4/1に入所式を行いました。ご本人、ご家族の皆さまにとって、新しい一歩を踏み出す大切な節目であり、社会福祉法人友和の里にとっても一年に一度の新しい仲間を迎える春の恒例行事となっています。利用者職員一同、浴^{えき}さんを心より歓迎申し上げます。

私自身も、4月より通所部管理者として新たに配属されたばかりです。実に8年ぶりで、以前とはまた少し違った環境や支援のあり方に、懐かしさと新鮮さの両方を感じています。グループホームでの勤務とは異なり、スケジュールの流れや仕事のリズムにも違いがありますが、一つひとつ丁寧に取り組みたいと思ひます。

まだまだ学ぶことが多いですが、利用者の皆さんが日々安心して過ごし、笑顔で成長していけるような環境づくりに力を尽くしていきたいと考えております。新たな出会いと始まりに感謝を込めて、みなさんと共に歩んでいければ幸いです。

(部長 乙原 亮)



2025.4.1 にゅうしょしき(入所式)

はるいろ



佐藤和子^{さとうわこ}さんに手招きされていくと、「チューリップと一緒に写真を撮るとって」とリクエストがありました。写真は入口ゲート前に咲いている、八重咲のアンジェリクという名前のチューリップと佐藤さん。



畑に咲くチューリップと駐車場のり面のミツバツツジ



トビックス



アーチェリー活動

通所部ではアーチェリー体験をしに定期的に佐伯国際アーチェリーランドへ通っています。友和の里の通所を利用しての方を対象にした支援になります。同じ地域にあるアーチェリーランドは友和の里からマイクロバスにのって15分くらいのところにあります。雨の日も、雪の日も通うことができ、令和4年の秋からはじまった活動はスタートから2年半がたちました。1年目は利用者みんな全員参加スタイルでやってみて、2年目からは参加希望をとって実施しました。3年目の今年は5人参加希望が増えて、26名の通所利用者が参加されています。

活動支援は月に合計4回、参加者が12名の木曜日グループと14名の火曜日グループの2グループに分かれて参加しています。それぞれのグループに職員が6名引率でついて行きます。4月初めのミーティングで発表がありました。「これまで職員はアーチェリーランドのスタッフの補助をしていましたが、今年度は職員が利用者アーチェリーを教えられるように、アーチェリーランドのスタッフから職員も指導方法を学びます」と活動リーダーの三宅さんが話をし



通所開所日の活動風景



入所棟の2階廊下に新しく設置されたテレビ（32インチ）を見ているところ

通所部 【ワクワク通信】

4月19日（土）の通所開所日ではクリンウォーキングに取り組みました。療育・陶芸・創作班は、遊歩道や駐車場を、就労B型・貝通し班は日中活動棟を中心に下庭に分かれて、火ばさみとビニール袋を手でゴミ拾いを行いました。ホールにいる方達は、前庭の掃き掃除。風にふかれて舞っている落ち葉を箒で集めてはちりとりととてくれました。ホールにいる利用者さんは前庭の掃き掃除をしました。風にふかれて舞っている落ち葉をほうきで集めて、ちりとりととてくれました。

ここで一つほっこりするエピソードをご紹介します。今年度から初めて開所日に参加される浴（えき）さんは高等部での経験を生かされ、落ち葉を上手にほうきで集めてくれました。その様子を見た大黒（だくろく）さん！ちりとりを手に取って落ち葉を集める作業を協力して行う姿が見られました。一人ひとりができることを活かしながら、助け合って作業をする姿がとても印象的でした。今後も活動を通じて、協力する力や達成感を大切にしていきたいと思います。

（生活支援員 井場 孝行）

入所部 【あたらしいテレビ】

3月末に入所棟に新しいテレビが来ました。今までは1階に4か所テレビを設置していましたが、皆さん見たい番組などが違い、テレビが好きな方も多く環境改善に繋げるため新たに設置場所を増やしました。

場所は入所棟2階の男性棟、女性棟、中央リネン庫前の3か所に新しく設置しました。1階とあわせると計7台のテレビを見ることが出来ます。21時までは自由に鑑賞時間としています。快適に過ごして頂くため各場所にソファも新しく配置しました。リネン庫前では設置してあるリモコンを使ってチャンネルを変えられることができ、のんびり過ごされる利用者の方も増えてきました。ご自身が好きなところで好きなカープやグルメ番組、スポーツ観戦、アニメなどを鑑賞でき日中余暇の充実や利用者の方の小さな安らぎの時間に繋がればと思います。

（主任生活支援員 池田 識彰）



新しく参加メンバーになった石田さん（手前）と、スタッフとタッチをする山根さん（真ん中）

たのです。そこで様子を見に行くことにしました。そこで見れたのはぜひ紹介したくなる光景でした。最初の体験から3年目を迎える利用者のほうが構えも立派で上手に矢をい

ことができていました。三宅さんは、「おしえてきてもらった積み重ねがあるから」と言います。いつもは職員と利用者というあきらかな立場の違いが明確で、支援する人とされる人という位置づけでいろいろな活動やイベント、生活の支援が行われています。アーチェリーランドでは、

最低限の見守りをしながらではあるけれど、同じアーチェリー初心者として職員と利用者が同じ場所と同じことを習う姿はなんだかいいなあと思いました。



一列に並んで弓をかまえているところ。ポジションの補助をランドスタッフと職員がしています。

（地域交流支援員 ヒューガノリコ）

5

ゆうわ さとぎょうじよてい
友和の里行事予定

- 5/4 日 BBQ (GHFH)
5/4 日 レクリエーション (入所)
5/9 金 夕食会 (GHFH)
5/12 月 健康診断 (入所・通所)
5/13 火 お楽しみ会 (入所)
5/14 水 体重測定 (入所)
5/17 土 開所日 (通所)
5/18 日 訪問美容
5/23 金 全体避難訓練
5/25 日 西部地区親善球技大会 (GH)
5/27 火 夕食会 (入所)

				1	2	3
						けんぼうきねん日
4	5	6	7	8	9	10
4 バーベキュー みどりの日 こどもの日					9 ゆうしょくかい	
11	12	13	14	15	16	17
	12 けんこうしんだん 12 けんこうしんだん		14 たいじゅうそくてい			
		13 おたのしみか				17 かいしよび
18	19	20	21	22	23	24
18 ほうもんびよう					23 ひなんくんれん 23 ひなんくんれん	
25	26	27	28	29	30	31
25 きゅうぎたいかい		27 ゆうしょくかい				

GHFH グループホーム

にゅうしょ (入所)

つうしょ (通所)

4月から1か月が過ぎ、移動されてきた職員さんにとちらの入居者の方も興味深々です。普段以上に饒舌になったり、すこし夜更かししておしゃべりしたり、そーっと近くによってこられたり、逆に変化に動じず、普段通りの行動をされていたりします。(変化は感じ取られていると思います)

グループホームとフレンドホームにはテーマがあります。「入居者・保護者・地域の方・職員それぞれが、グループホームゆうわ・フレンドホームゆうわがあつて良かったと思える関係づくりをしておくこと」です。私の個人的な目標は「一生懸命やる」ことです。一緒に働く職員としてしっかりコミュニケーションをとりながら、入居者の皆さんに満足して頂けるサービスの提供に繋がるようにしていきます。当たり前のようにですが、支援は一人で行うものではなく、職員皆で得意不得意を補い合いながらチームで行うものだということです。これらを日々実感し、私自身も毎日助けられています。

(共同生活援助管理者 川久保 貴子)

しよ
く
い
が
い

新しくグループホーム、フレンドホームの管理者となった川久保さんに今の気持ちを教えてもらいました。



ご寄付の紹介



友和の里通所部保護者会さま
友和の里入所部保護者会さま
たくさんのご寄付を賜り厚くお礼申し上げます